

キリスト教主義の 会津北嶺高等学校の入学式開催

2024年度会津北嶺高等学校の入学式が、4月6日同校体育館にて開催された。なお昨年、夏の甲子園県大会で初のベスト4に輝き、卒業生がロッテに入団したこともあり、今年度は35名の野球部の入部希望者があつ



た。式はキリスト教主義の入学式で、十字架の燭台に4本の蝋燭を点し、国家斉唱、賛美歌、来賓祝辞があり、歓迎の言葉は在校生を代表して高橋柊音（しゅうと）さん、誓いの言葉は新入生を代表

して岩橋しずくさんが行った。

なお席上、石山裕司学校長は「本校は、1923年に石山休三先生が『博愛・自由・平等』の建学の精神のもと、若松裁縫女学校として創立され、101年を迎えました。1947年からはキリスト教教育を徳育の教育の柱として、建学の精神のとおり、『生きること、愛すること、学ぶこと、そして貢献すること』。人間は平等であるか

ら、本校の先生方は生徒さんと呼び捨てしませぬ。授業時数も内容も県立の進学校に引けを取ることはありません。さて、新入生の皆さん、私は本校の卒業生として、輝かしい伝統と校風を皆さんに引き継いで頂きたい。皆さんは、会津北嶺高等学校を選んで入学したのではなく、『神様が選んで一人一人をここに送ってください』のだと私は信じています。この三年間自分の進路を真剣に探し求め可能性に挑戦して下さい。（中略）そして、豊かな人生を送れる人材となつて下さい」と、式辞を述べた。